

地理の地形

今回の計画地である「十日町市」と「津南町」は、冬の期間が長く、日本有数の豪雪地帯で知られおり、夏は北西の涼風と高原気候のため、過ごしやすい地域となっています。また、日本ならではの棚田やブナ林、河岸段丘が数多く残っているのが特徴です。

今回、私が注目したのは、津南町に広く分布している「河岸段丘」です。段丘の上は地盤が安定しているので、建物を建てることができます。また、長い年月をかけて出来上がった「河岸段丘」は様々な自然の恩恵を受けています。このことから、「河岸段丘」という素晴らしい地形を利用した建物を提案します。

津南町では、子どもを「強い子」、「やさしい子」に育てるということを理念に掲げ、地域全体で子育てに取り組んでいます。また、横と縦両方のつながりを増やすため、積極的に交流事業を行っていたり、「五感」を通して学ぶことができる「ジオパーク学習」の取り組んでいます。そこで、これらの活動に適した建物とすることを目指しました。

■計画地

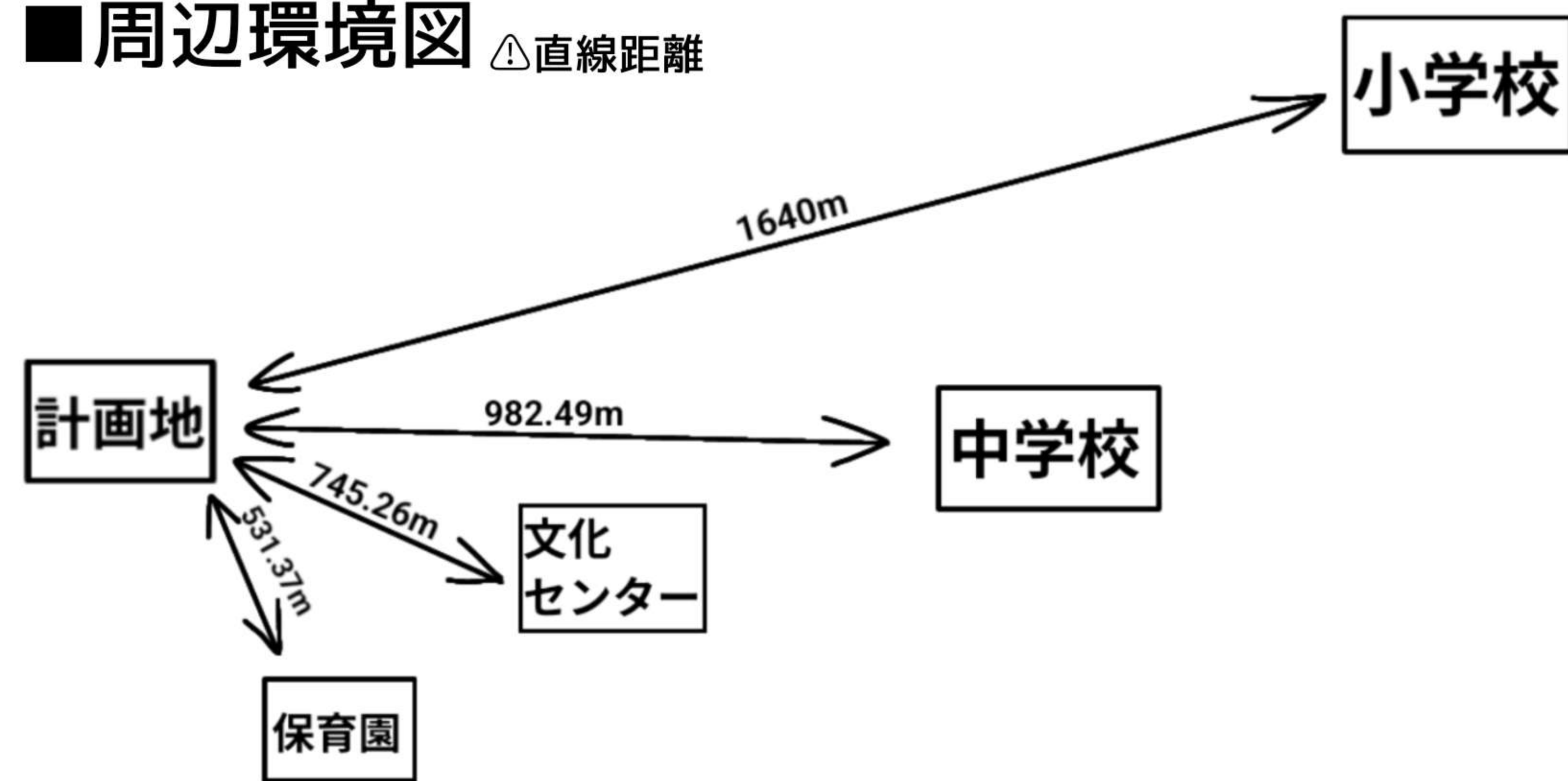
△赤い線で囲われているところが計画地



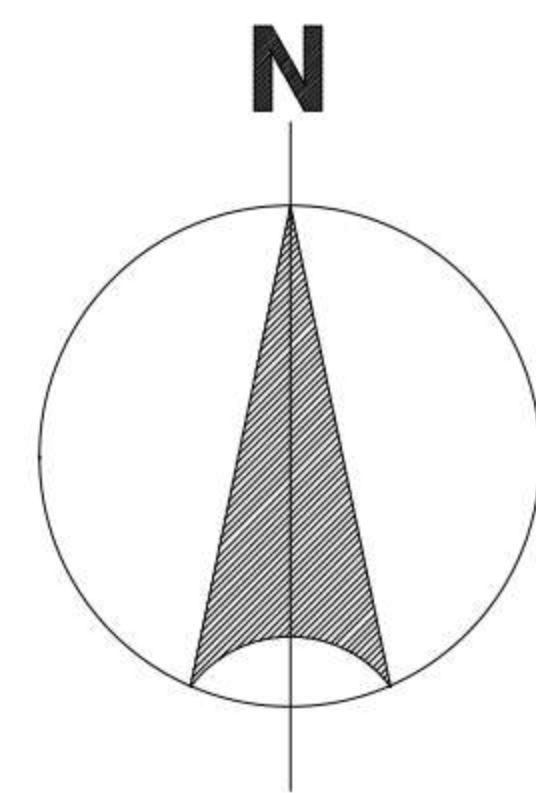
引用：国土地理院地図

■周辺環境図

△直線距離

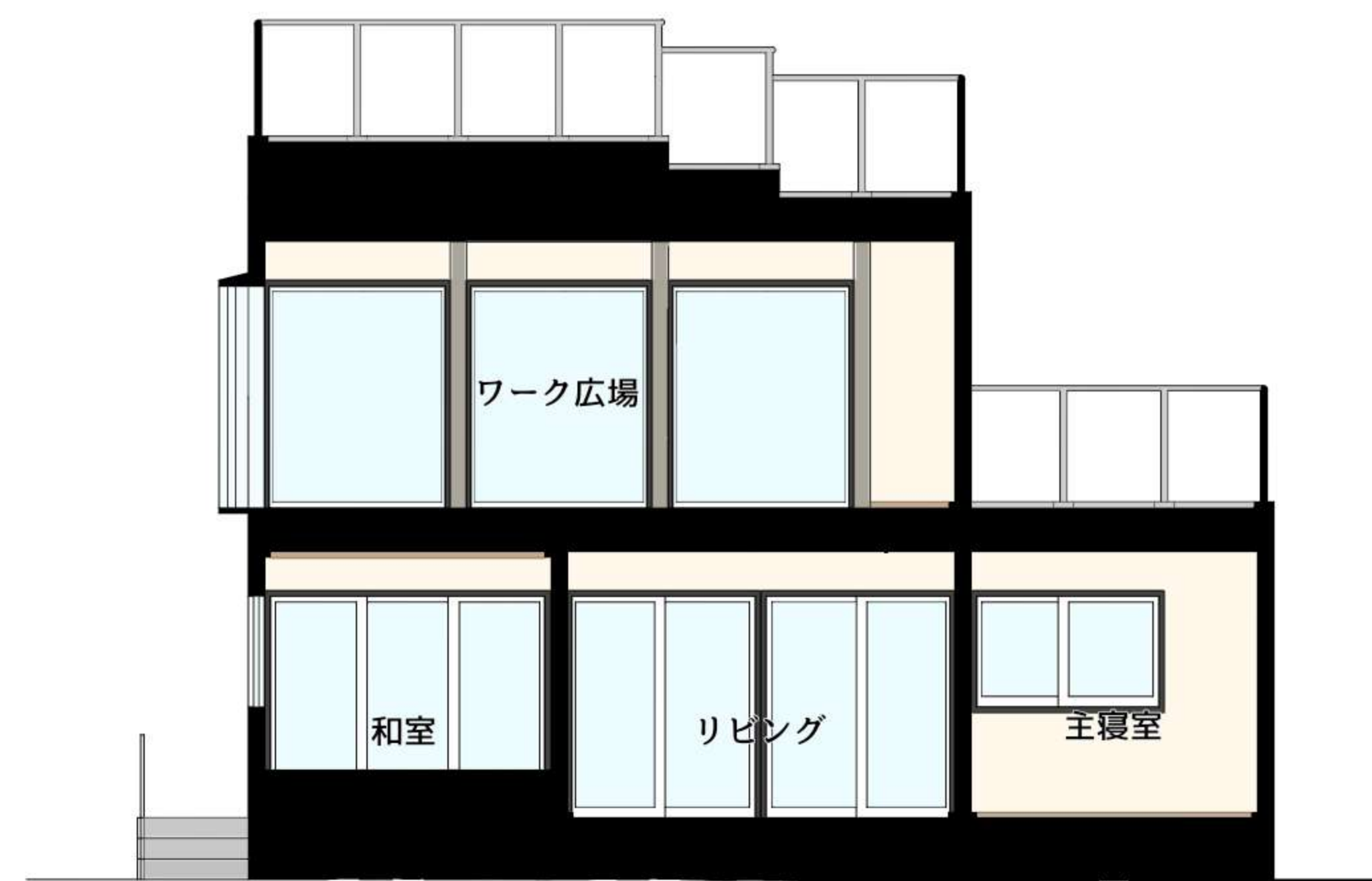
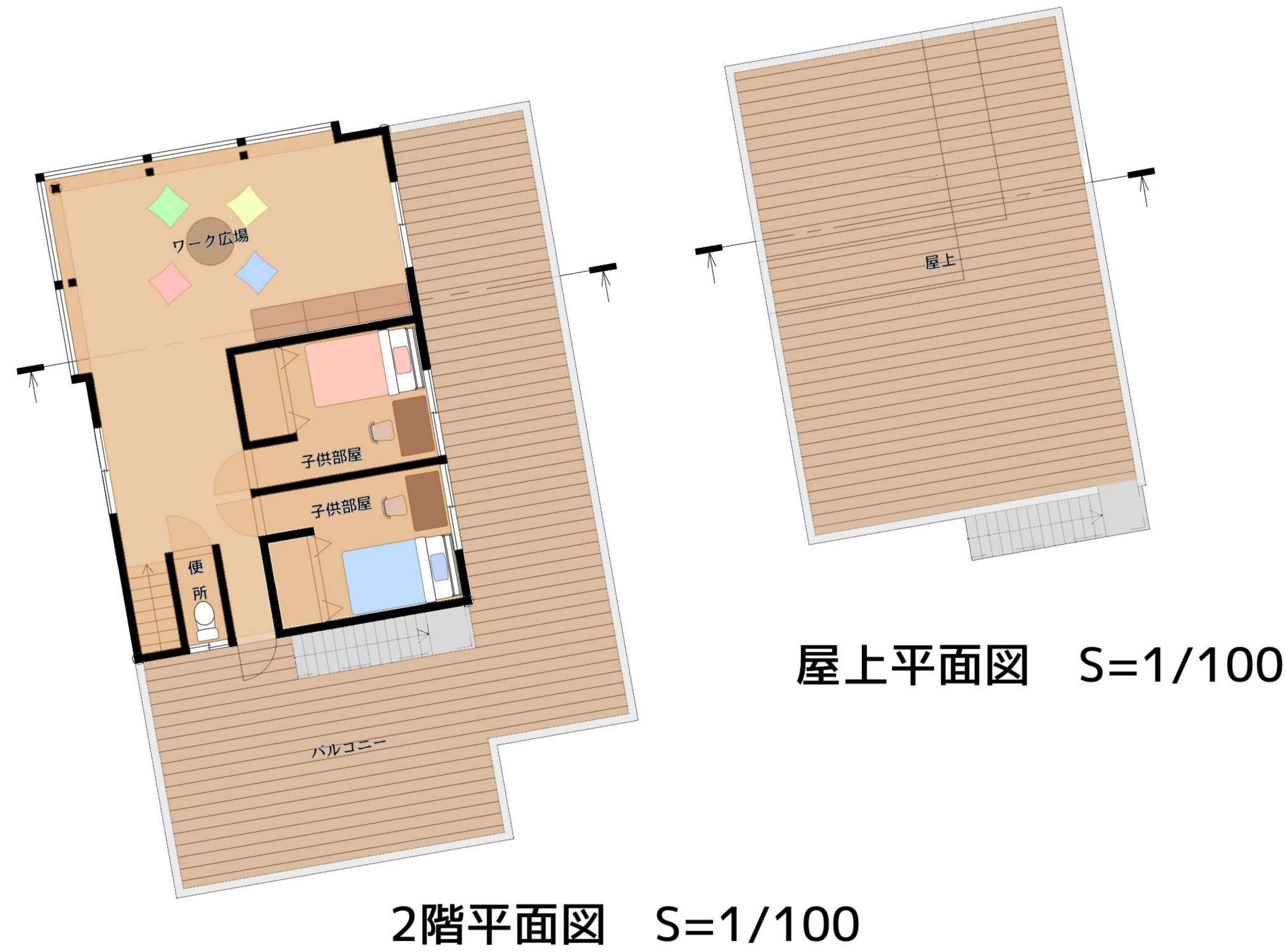


○計画地のある住所
〒949-8201
新潟県中魚沼郡津南町下船渡丁



配置図兼1階平面図 S=1/100



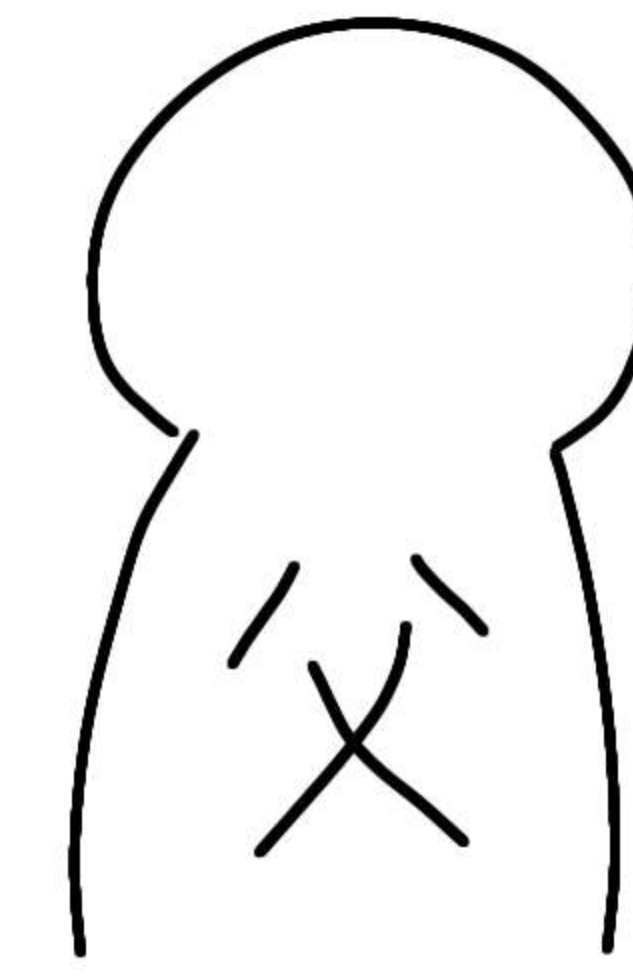


断面図 S=1/100

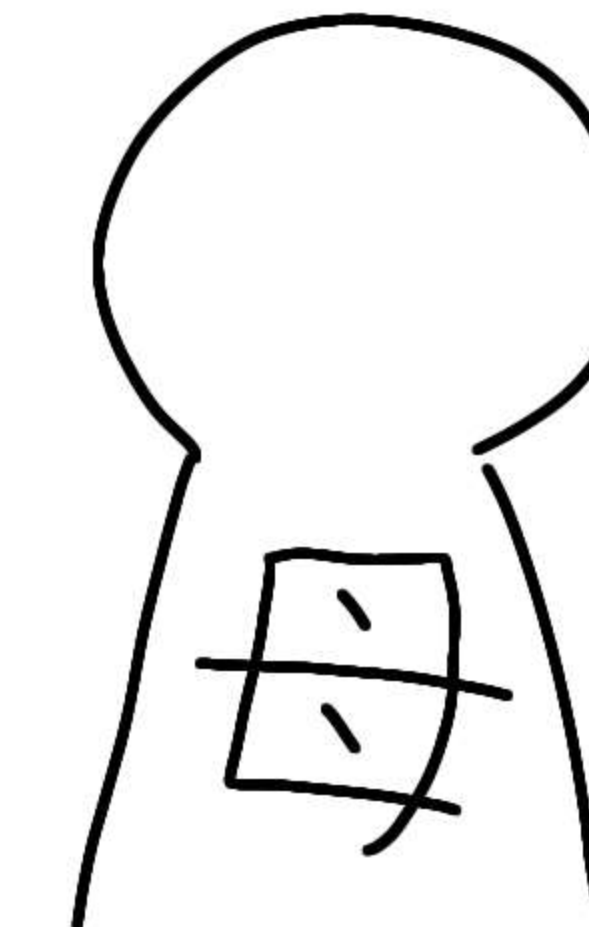


立面図 S=1/100

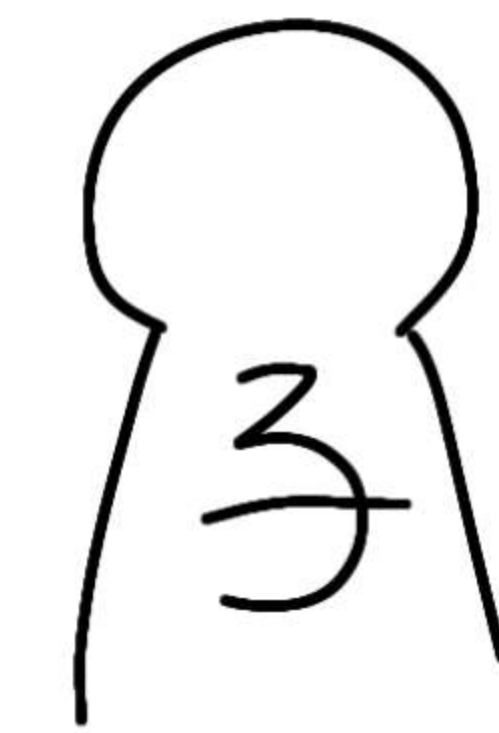
■ 家族構成



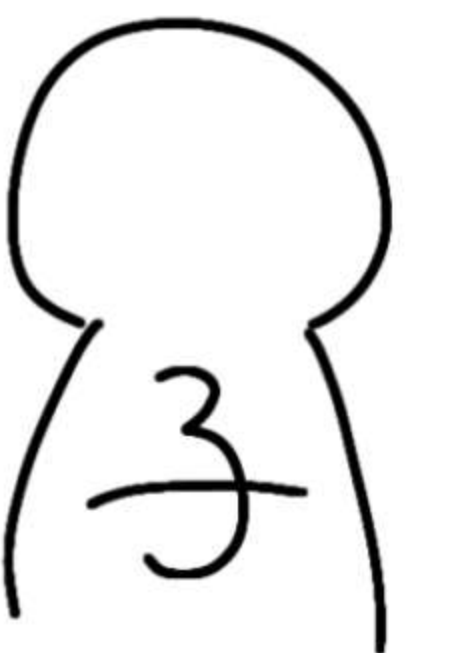
地層研究者
(35)



地層研究者
(34)



小学2年生
(8)



未就学児
(4)

■ ジオパーク学習について

地域全体で行なっている「ジオパーク学習」。これを「敷地の北側にある崖を地層が見えるようにする」ことで建物に居ながら学習することができます。

家の中や屋上など、様々な視点からどのような地層になっているのかを見ることで学びを深めていきます。また、「見る」だけでなく、「触る」ということもできるため、五感を通した学習を図ることができます。

そして、地域の子どもたちを家に招き、ここに住む子ども自身が教えることで、知識をより深めることができます。

